



「友愛とみどりと根性の加治木小」

加治木の風

令和6年度 学校だより No.2

始良市立加治木小学校

令和6年5月10日

加治木小学校ブログ →

TEL:62-3156 FAX:62-2657



夢を描こう

校長 田 畠 正 英

新緑が鮮やかな過ごしやすい季節になりました。新年度を迎え、1か月が過ぎようとしています。子供たちは新たな学級にも慣れ、意欲的に学校生活を送っています。

さて、本校では子供たちが夢や目標をもち、将来の生活や仕事について家族団らんの中で話題にできるように「キャリアパスポート」を作成しています。子供たちは、新しい学年でどんな自分になりたいか、「なりたい自分」について考えていることと思います。子供たちはどんな夢や目標を描いているのでしょうか。

私は以前6年生を担任していたとき、子供たちによく「夢をもちなさい。」と口にしていました。でも、自分を冷静に見たとき、自分自身は夢をもてていないことに気付きました。子供たちに「夢をもちなさい。」と言うからには自分も夢をもたなければといろいろ考え、当時の私がたどり着いた夢(目標)は、日本人学校に赴任するということでした。「どこの国に派遣されるかわからない。言葉も生活習慣も全く違う異国の地で仕事をして生活もしなければならぬ。自分一人だけではなく、家族のことも考えなければならぬ。」など、不安なこともいっぱいでしたが、本気で思うことにより、不思議と本気で応援してくれる人が現れてきました。そして、本気になったら何をしたらよいか明確になっていきました。ちょっと勇気を出して挑戦することで、夢は少しずつ実現に近づいていくのだとそのとき実感しました。ただ、夢に向かって踏み出すと、楽しいことだけでなく、辛いことや苦しいことなど、壁にぶち当たることもたくさんありました。「壁というのは、できる人にしかやっこない。超えられる可能性がある人にしかやっこない。だから壁があるときは、チャンスだと思っている。」という元メジャーリーガーのイチローさんの言葉には、何度も勇気づけられました。見方を変えて壁をチャンスと捉えることで、前向きな気持ちになることができました。

また、夢を実現するためには「諦めずに続けること」、「人や場所など、何かのせいにしなないこと」、「時間を有効に使うこと」も大切だと気付きました。

子供たちには夢を描き、自信をもってその夢を言葉にしてほしいです。ご家庭では、子供たちが自分の夢を自由に語れる場をつくってほしいです。そして、子供たちが夢の実現に近づけるように私たち大人は子供たちを励まし、子供たちの夢を応援できたらと考えます。



1年生を迎える会

4月23日(火)3校時に1年生を迎える会を行いました。

1年生が楽しみながら他の学年の人たちと仲良くなれるように、縦割班で「たけのこニョッキゲーム」をしました。成功したらみんなで大喜びし、失敗してもみんなで大笑いしながら各班で楽しい時間を過ごすことができました。1年生は、会の最後のお礼の言葉をとても上手に言えました。



6月のよてい

月	日	曜	行事等
6	3	月	栄養教諭教育実習(～7日)
	7	金	プール掃除(5・6年)
	8	土	オッハー運動(2-1)
	10	月	オッハー運動(1-1)
			校内読書旬間(～21日) プール開き
	12	水	PTA運営委員会
	13	木	スクールゾーン対策委員会
	17	月	校内くも合戦(5年)
	18	火	オッハー運動(1-2)
			PTA理事会
	19	水	学校保健委員会
	20	木	オッハー運動(6-1)
			生き物学習会(3年)
	21	金	アドベンチャー遠足(6年)
プール掃除(4年)			
26	水	読み聞かせ(ボランティア)	
27	木	学校評議員会	
		PTA運営委員会	
28	金	オッハー運動(6-2)	

交通安全教室

4月12日(金)に交通安全教室を行いました。1・2年生は、「正しい道路歩行・横断の仕方」、3～6年生は、「正しい自転車の乗り方」について学習しました。始良警察署と地域振興課の方々に丁寧なご指導をいただき、子供たちは正しく理解できたようでした。今後も子供たちが交通事故に遭わないよう、声掛けや見守りを引き続きよろしくお願いします。



始良警察署と地域振興課の方々に丁寧なご指導をいただき、子供たちは正しく理解できたようでした。今後も子供たちが交通事故に遭わないよう、声掛けや見守りを引き続きよろしくお願いします。



かじきっ子見守り委員会



「加治木小学校の児童全員が安心して学校生活を送れるようにすること」を目指し、昨年度より発足した「かじきっ子見守り委員会」の第2回を3月に実施しました。

年度をまたいでの報告となりましたが、第2回の内容をお伝えいたします。ご一読ください。

【第2回の内容】

① 第1回で出された意見の振り返りとその後の取組状況の報告【教頭より】

② 生徒指導上の問題に関する現状報告【生徒指導主任より】

いじめ 4～7月:15件、9～2月:12件。2月時点での未解消は5件。(5月現在、3件は解消。2件は経過観察中)

※ いじめ発生から3か月間経過観察し、継続していないことを確認後、「解消」とする。

半数近くが「身体的特徴に関する悪口や暴言」。他は「物隠し」、「仲間外れ」など。

※ 本校は、ささいな兆候であっても、いじめではないかとの疑いをもって、早い段階からの確に関わりをもつなど、いじめの積極的な認知につとめています。いじめに対する取組は、ホームページに掲載している「いじめ防止基本方針」でご確認ください。

問題行動 SNS上のトラブル、喫煙、学校内外の物品の破損、学校内外への落書きなど。

不登校 学年が上がるにつれて欠席日数が増える傾向。

③ 発達障害についての学習【講師: さん(PTA副会長)】

ASD(自閉スペクトラム症)やADHD(注意欠陥・多動性障害)、LD(学習障害)などの**発達障害を「個性」と捉えることが大切**。また、これらの**発達障害について正しく知ることが「相互理解」や「他者意識」につながる**。そのため、積極的に学び続けることが重要。

④ あいさつを通した見守りについて【講師: さん(学校安全ボランティア)】

あいさつは、人生で最も役に立つコミュニケーションツール。まずは、**家庭から実践することが大切**。そして、相手の反応に関わらず、あいさつし続けることも大切。そうすることで、少しずつあいさつの輪が広がり、**地域でのあいさつが「子供たちの見守り」につながっていく**。